

2026年 6月期

決算説明会資料

2026年 8月6日

株式会社アーバネットコーポレーション

(証券コード:3242)



URBANET 2026

FINANCIAL REPORT

株式会社アーバネットコーポレーション（証券コード3242）

2026年6月期
決算説明会資料
2026年8月6日

4期連続の増収増益、売上高および全利益項目で過去最高を更新
親会社株主に帰属する当期純利益は5期連続増益
期初予想を上回る好業績により、期末配当金を2円増配

連結売上高

39,394百万円

前期比 +16.1%

連結営業利益

4,147百万円

前期比 +19.1%

連結経常利益

3,135百万円

前期比 +12.5%

親会社株主に帰属する
連結当期純利益

2,129百万円

前期比 +15.1%

たな卸資産

56,172百万円

前期末比 +35.6%

年間配当金

24円

前期比 +2円

2026年6月期決算 PL

- 業績好調により、7月23日に通期業績予想を上方修正
- 都市型賃貸マンションの販売は計画どおりに進捗し、高採算プロジェクトの売却が利益率の向上に寄与
- グループ会社ケーナインの業績は、年間を通じて好調に推移し、連結業績を牽引
- 事業拡大に伴う諸経費増を、増収効果により吸収

(百万円)	2025年6月期	2026年6月期	増減	2026年6月期 期初予想 (2025年8月7日発表)	進捗率	コメント
売上高	33,933	39,394	5,461	37,044	106.4%	□ 売上総利益率 2025年6月期：19.0%、2026年6月期：19.9% □ 販売費・一般管理費 ・ 事業拡大に伴う人員増や、優秀な人材確保に向けた給与水準の引き上げによる人件費の増加 ・ 販売の好調に連動した仲介手数料の増加 □ 営業外費用 ・ 金利上昇と借入金の拡大に伴う支払利息等の増加
売上原価	27,470	31,546	4,076			
売上総利益	6,463	7,848	1,385			
販売費・一般管理費	2,981	3,700	718			
営業利益	3,481	4,147	666	3,623	114.5%	
営業外収益	9	19	9			
営業外費用	703	1,031	327			
経常利益	2,787	3,135	348	2,850	110.0%	
特別利益	—	19	19			
特別損失	—	25	25			
税金等調整前当期純利益	2,787	3,129	342			
親会社株主に帰属する当期純利益	1,850	2,129	278	1,900	112.1%	
都市型賃貸マンション・戸建等販売戸数	650	593	△ 57	591	100.3%	

2026年6月期決算 セグメント別実績

- 都市型賃貸マンションの販売は概ね計画どおりに推移し、ファンド向け一棟販売を中心に順調に売上計上
- ケーナインは全商品で販売が好調に推移し、販売戸数は前期を大きく上回る
- ホテル事業は、インバウンド増や内需の取り込みにより、年間を通じて堅調な稼働と売上を維持

(百万円)	2025年6月期 実績 ①		2026年6月期 実績 ②		増減額 ②－①	備考
売上高（連結）	33,933		39,394		5,461	
不動産事業 計	33,695		39,157		5,462	
〈内訳〉不動産開発販売 小計		32,155		38,025	5,869	
都市型賃貸マンション	607戸	24,430	541戸	25,407	977	増収：12棟541戸を販売。
戸建	11戸	901	17戸	1,701	800	増収：ケーナインによる建売。
アパート	11戸	314	17戸	732	418	増収：ケーナインによるアパート1棟販売。2棟17戸を販売。
タウンハウス	21戸	1,469	18戸	1,475	6	増収：ケーナインの主力商品。都心好立地により販売単価上昇。
用地売却等	9件	4,460	15件	8,354	3,894	増収：用地売却（権利調整や整地等による土地のバリューアップ販売）が13件、その他2件。
建築請負	—	579	—	351	△ 227	減収：ケーナインによる建築事業。今期は親会社からの工事発注が発生した影響。
不動産仕入販売（買取再販等）	1棟	727	1棟2戸	537	△ 190	減収：前期に大型物件の買取再販があったため。
不動産賃貸・仲介等		811		595	△ 216	減収：保有物件が減少したため。
ホテル事業 計	238		237		△ 0	減収：中国人宿泊客の減少をカバーし、売上高は前期並みを維持。
セグメント利益※	5,065		5,948		883	
不動産事業	5,019		5,909		889	増益：不動産開発販売の増収および利益率の高い物件販売によるもの。
ホテル事業	45		39		△ 6	減益：当期は改修等の費用が発生したため。

※セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

不動産開発販売 都市型賃貸マンション 竣工物件

- アジールコート浜松町は、品川・東京・新橋をはじめとする都心主要駅や羽田空港へのアクセスに優れた交通利便性の高い立地
都心の利便性を享受したいシングル層の居住者を想定し、間取りは1Kと1DKで3タイプを用意
- ヴォーガコルテ東府中アジールコートは、京王線「東府中」駅徒歩4分、豊かな住環境と生活利便性を兼ね備えた立地
外観は当社らしいモノトーンを基調とし、エントランスの羽の彫刻はゆとりある都市生活を演出



アジールコート浜松町

所在地: 東京都港区芝
 交通: 都営三田線「芝公園」駅徒歩8分
 都営浅草線「大門」駅徒歩9分
 JR「浜松町」駅徒歩9分
 構造・規模: 鉄筋コンクリート造
 地上10階 27戸
 竣工: 2026年4月



ヴォーガコルテ東府中アジールコート

所在地: 東京都府中市八幡町
 交通: 京王線「東府中」駅徒歩4分
 京王競馬場線「府中競馬正門前」駅徒歩9分
 構造・規模: 鉄筋コンクリート造
 地上9階 54戸
 竣工: 2026年6月



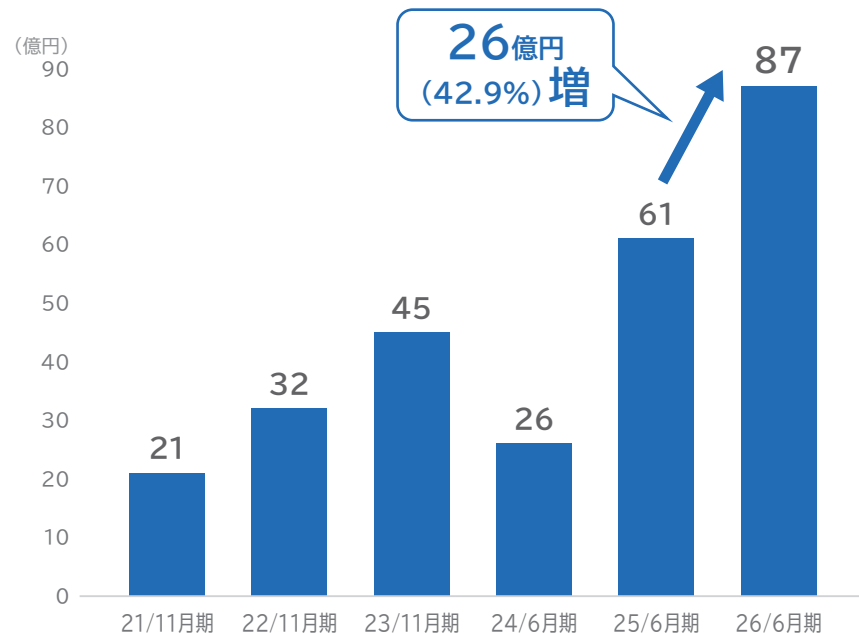
ケーナインの販売状況

【2026年6月期 業績】

売上高 87億円(前期比 42.9%増)

営業利益 9億円(前期比 42.6%増)

ケーナインの売上高推移



※決算月は2021～23年度は11月、24年度より6月。24年度は7カ月間の数値

- 全商品で販売が好調に推移し、売上高は期初計画(76億円)を大きく上回る
- 上場企業グループの信用力を背景に、好採算用地の仕入れ推進も寄与し、営業利益も大幅増益を達成

タウンハウス竣工物件



FOLS TERRACE 池袋

所在地:東京都豊島区池袋
 交通:東京メトロ丸ノ内線・有楽町線・副都心線
 「池袋」駅 徒歩9分
 JR「池袋」駅 徒歩12分
 構造・規模:鉄骨造 地上3階 5戸
 竣工:2026年4月



タウンハウスとは、複数の低層住宅が横に連なり、壁を共通にし、各住戸が専用玄関を持つ集合住宅です。戸建に近い独立性がありつつ、敷地や通路等を共有する場合があります。

ケーナインの開発物件

戸建



FOLS 千歳台

所在地: 東京都世田谷区
 交通: 京王線「八幡山」駅 徒歩21分
 小田急線「千歳船橋」駅 徒歩23分
 間取り: 2LDK+2S / 3LDK+S
 タイプ 6戸
 竣工: 2026年4月



FOLS 鷺沼

所在地: 神奈川県川崎市
 交通: 東急田園都市線「鷺沼」駅 徒歩7分
 東急田園都市線
 「たまプラーザ」駅 徒歩15分
 間取り: 4LDK+小屋裏収納
 竣工: 2026年4月



FOLS 世田谷

所在地: 東京都世田谷区
 交通: 東急世田谷線「世田谷」駅 徒歩4分
 間取り: 3LDK+S
 竣工: 2026年4月

アパート



FOLS CLASS 高田馬場

所在地: 東京都新宿区
 交通: JR「高田馬場」駅 徒歩7分
 間取り: 1DK、1LDK、2LDK 6戸
 竣工: 2026年4月



FOLS CLASS 三軒茶屋一丁目

所在地: 東京都世田谷区
 交通: 東急世田谷線
 「三軒茶屋」駅 徒歩8分
 間取り: 1LDK 8戸
 竣工: 2026年6月

2026年6月期決算 期末BS

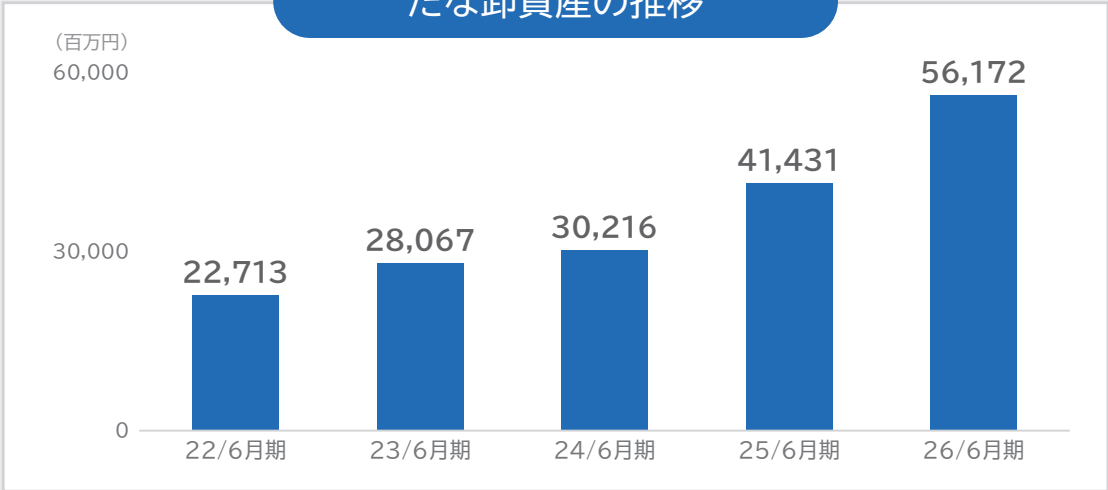
- 積極的な用地取得により、将来の成長を牽引するたな卸資産が順調に増加
- 成長投資を支える資金調達は、金融機関との強固な信頼関係を背景に順調に推移
- 過去最高の純利益計上により純資産を拡充し、強固な財務基盤を維持

(百万円)	2025年6月 期末	2026年6月 期末	対前期末 増減
現預金	11,423	11,597	174
たな卸資産*	41,431	56,172	14,740
固定資産（有形・無形）	7,750	9,616	1,866
投資その他の資産	824	799	△ 24
その他資産	892	864	△ 28
資産 計	62,322	79,050	16,728

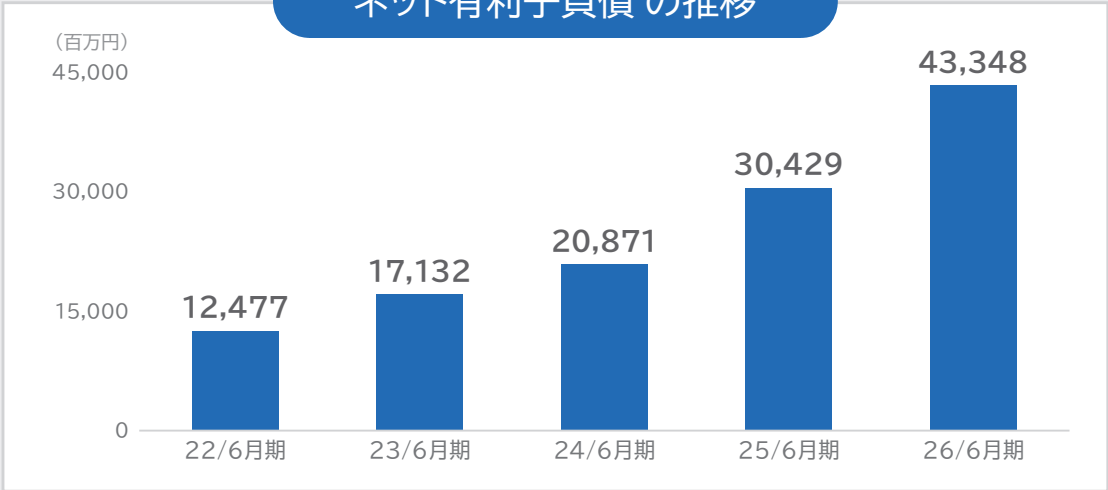
(百万円)	2025年6月 期末	2026年6月 期末	対前期末 増減
有利子負債	41,852	54,945	13,093
その他負債	3,121	4,608	1,486
負債 計	44,974	59,554	14,580
株主資本	17,347	19,496	2,148
新株予約権	0	0	△ 0
純資産 計	17,347	19,496	2,148
負債・純資産 計	62,322	79,050	16,728

* たな卸資産＝販売用不動産と仕掛販売用不動産の合計

たな卸資産の推移



ネット有利子負債*の推移



* ネット有利子負債＝有利子負債－現預金

2026年6月期決算 CF

- 営業活動によるC/F 中期経営計画達成に向けた積極的な用地仕入れにより、たな卸資産が増加し、マイナス
- 投資活動によるC/F 収益不動産等の取得により、マイナス
- 財務活動によるC/F 成長投資を支えるため、金融機関からの資金調達を順調に実施し、プラス

単位：百万円

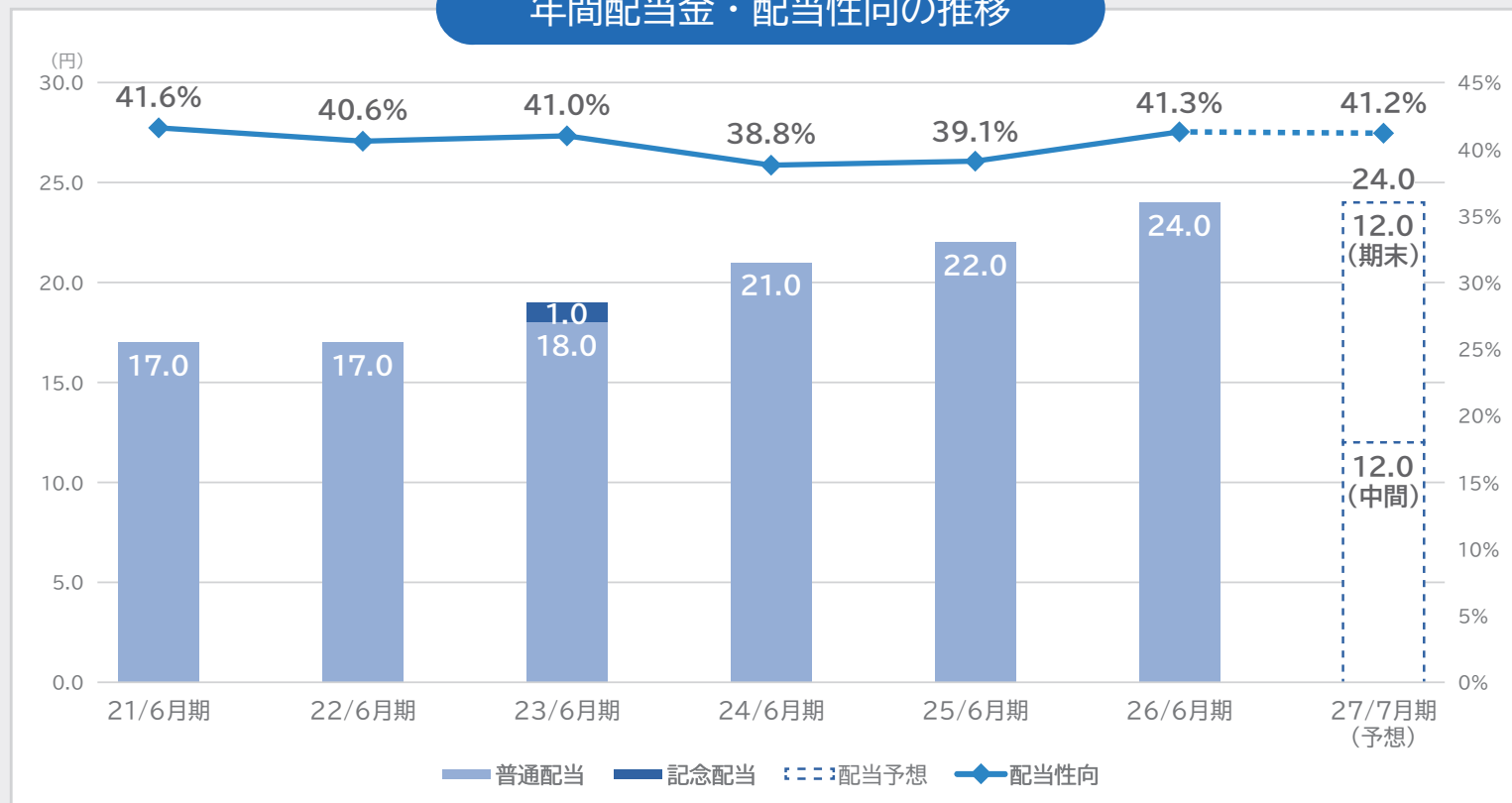
キャッシュ・フロー項目	2025年6月期	2026年6月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,279	△ 9,690	△ 2,411
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,601	△ 3,232	△ 630
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,770	13,112	341
現金及び現金同等物の期末残高	11,398	11,587	189
フリーキャッシュ・フロー	△ 9,881	△ 12,923	△ 3,041

株主還元、株主優待



- 2026年6月期の1株当たり配当金は24円(中間配当11円、期末配当13円)、期初予想から、期末配当を11円→13円へ2円増配
- 2027年6月期の1株当たり配当金は24円を計画

年間配当金・配当性向の推移



株主優待制度

これまでご支援いただいた株主の皆さまへの感謝の意を表すとともに、株主の皆様当社株式への投資の魅力をより一層感じていただくことを目的として導入。

■ 内容

基準日(12月末および6月末)現在の株主名簿に記載・記録された株主

- 500株以上 QUOカード 2,500円分
- 1,000株以上 QUOカード 5,000円分



〈参考〉

YAHOO! JAPANファイナンス
当社株主優待ページ

URL:<https://finance.yahoo.co.jp/quote/3242.T/incentive>



アーバネットグループ

中期経営計画の進捗状況

2025年7月 — 2028年6月

CHALLENGE 2028

価値ある空間創造

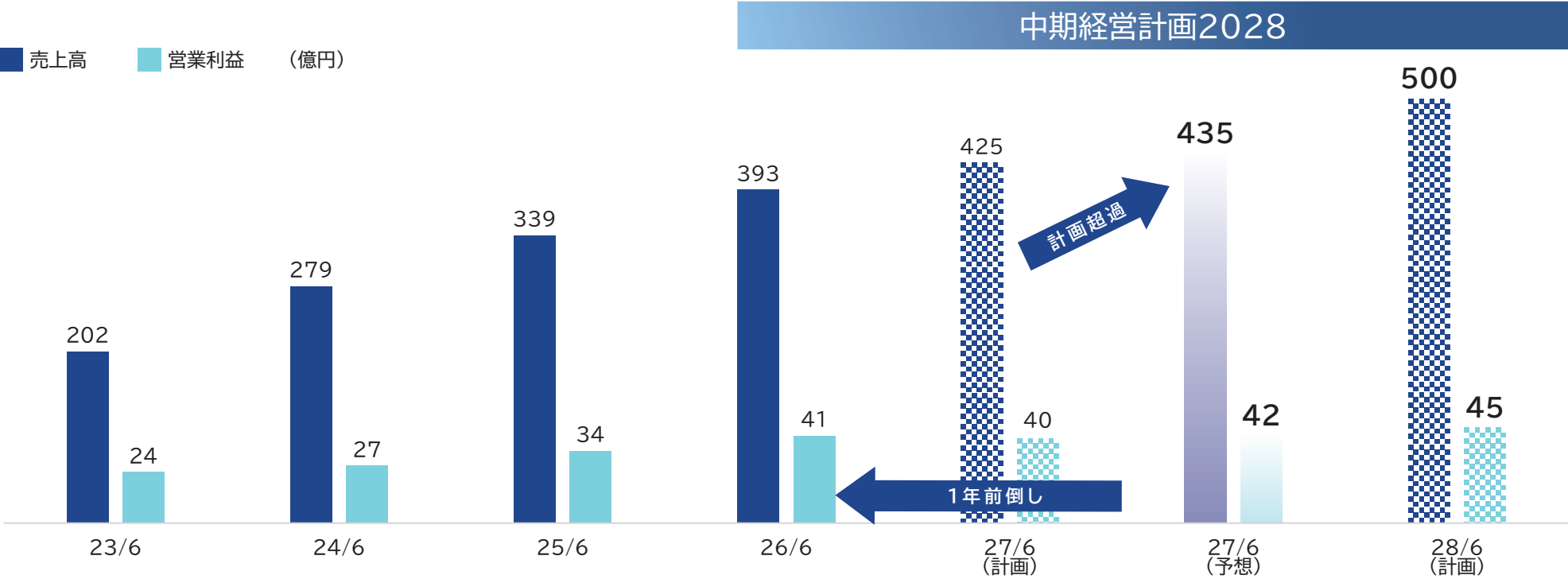
私たちは不動産開発を通じて、
価値ある空間を創造し、力強く成長します



中期経営計画2028の進捗状況(1) 計画と2027年6月期業績予想

2027年6月期業績予想は中期計画を超過、営業利益は1年前倒しで達成

(百万円)	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する 連結当期純利益	都市型賃貸マンション等 販売戸数
2026年6月期 実績	39,394	4,147	3,135	2,129	593
2027年6月期 予想	43,500	4,200	3,150	2,150	653
2027年6月期 計画	42,529	4,078			

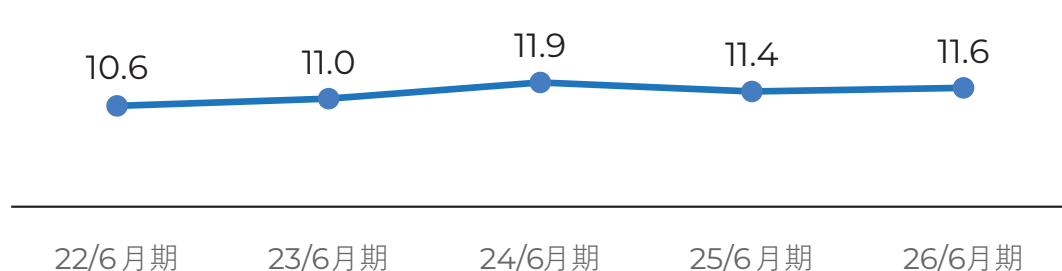


中期経営計画2028の進捗状況(2) 株価と資本コストを意識した経営

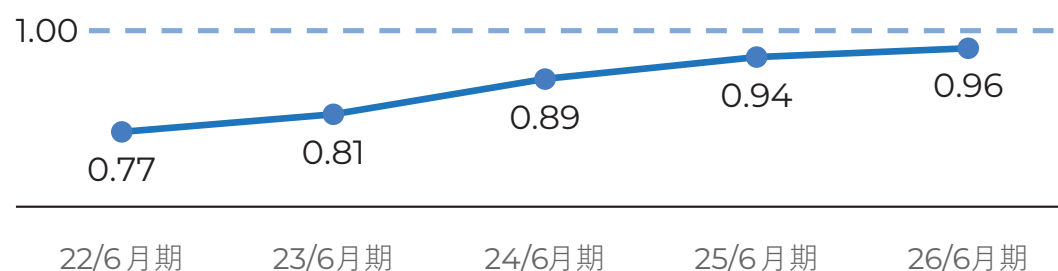
ROEは10%以上で推移しており、CAPM理論値の株主資本コスト約8.0~8.5%^(※)を上回る状況
一層のPBR向上に向けて、業績およびROE向上とともに、株主資本コストの低減を推進

※上記の株主資本コストはCAPMに基づき当社にて試算した推計値(理論値)です。

ROE (%)

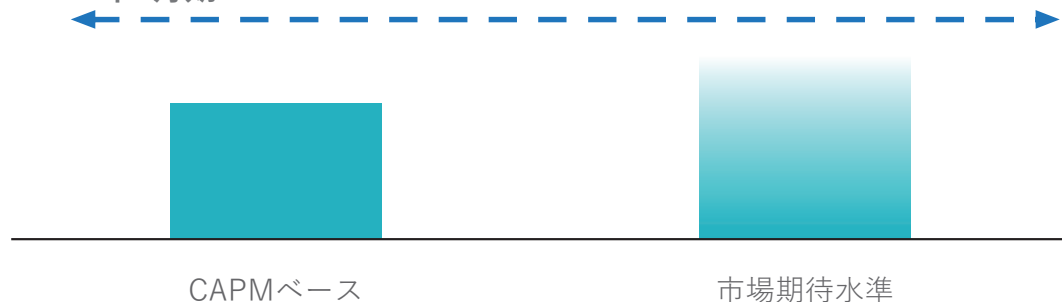


PBR (倍)



株主資本コスト (%)

26年6月期 ROE 11.6%



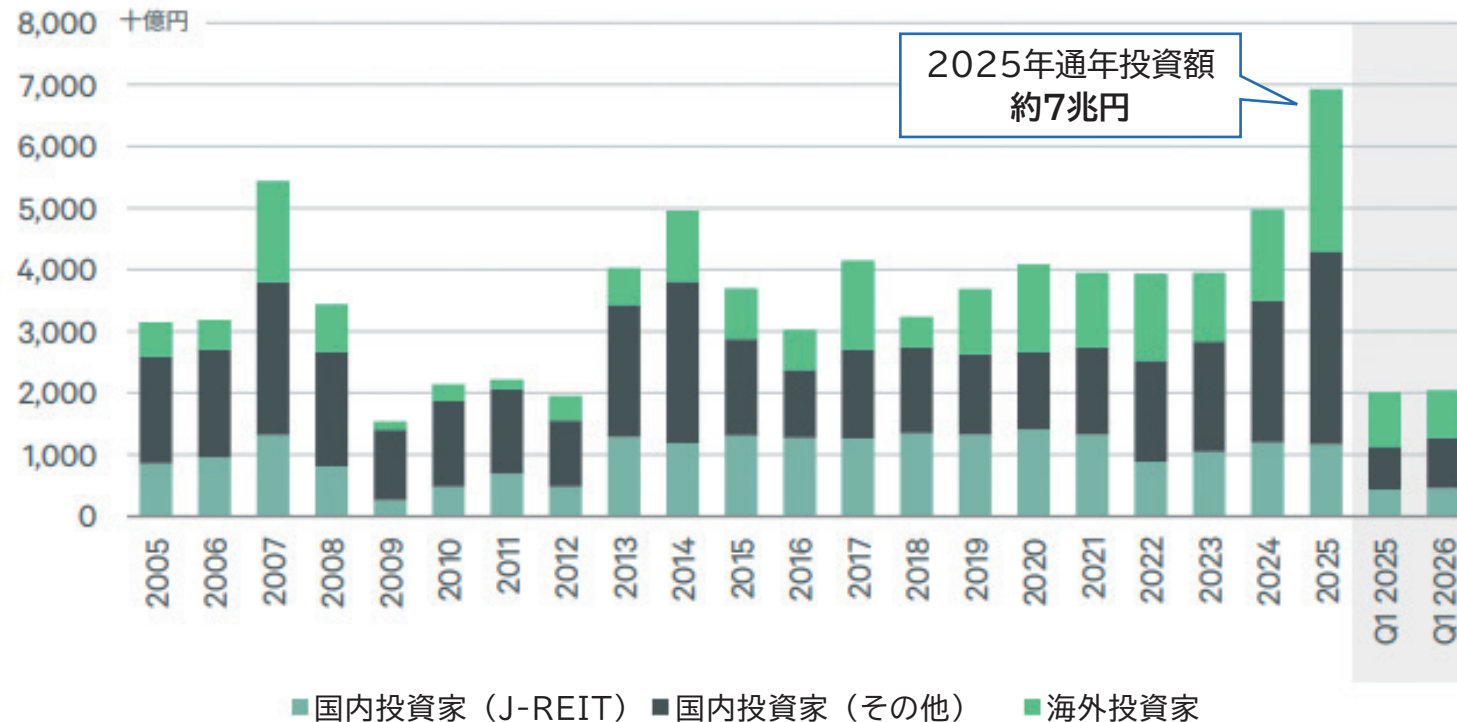
PER (倍)



中期経営計画2028の進捗状況(3) 都市型賃貸マンション開発事業

マクロ環境:国内不動産投資額は過去最大の約7兆円に到達
→投資資金はより「大型化」の傾向

投資主体別投資額(取得額)



- 国内外投資家の積極的な投資姿勢は継続。
- 2025年は大型の取引が多く、1件当たり100億円以上の大型案件が過去最多を記録。
- 住宅の投資額は、J-REITによる入替取引や海外機関投資家によるポートフォリオ取引が活発だったことにより増加。

注:10億円以上の取引が対象 J-REITによるIPO時の取得物件を除く
出所:MSCI Real Capital Analytics, CBRE, Q12026

複数の大手AM会社との継続的な取引関係を構築
(三井不動産とのパイプライン・サポート基本協定締結等)
大型開発プロジェクトの推進

主なリート・ファンド向け大型物件販売スケジュール

FY2027(今期-2027年6月期)	FY2028(来期・中計最終年度-2028年6月期)	FY2029以降
【2027年3月末引渡し予定】 下高井戸ⅡPJ、十条PJ、十条ⅡPJ、 東高円寺ⅡPJ、以上4プロジェクト 総戸数 243戸のバルク販売 売買契約締結済	【2028年3月末引渡し予定】 船橋PJ 戸数 274戸 売買契約締結済	【設計中】 八丁畷PJ 戸数 335戸予定 大森町VIPJ 戸数 106戸予定

マクロ環境の追い風を、的確なアセット戦略によって確実な「売上」と「成長」へ変換。
中計2028の達成に向けた強固な事業基盤を着実に構築。

中期経営計画2028の進捗状況(4) ホテル・高齢者施設開発事業

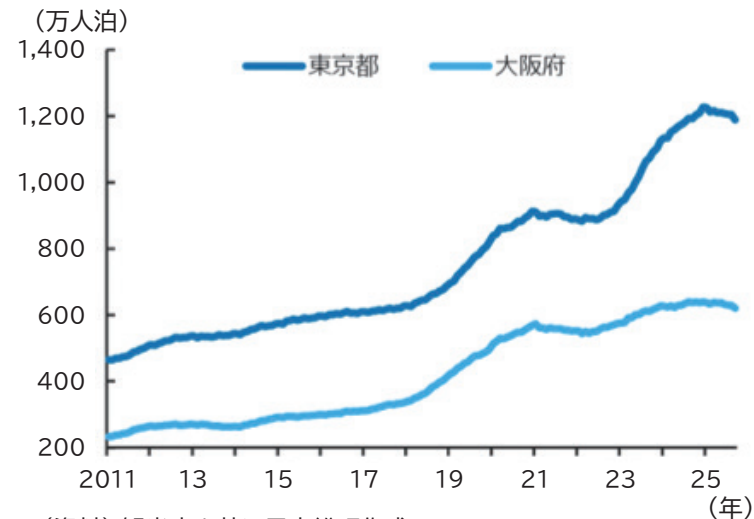
マクロ環境:都市部における「インバウンド需要」と「高齢化」の同時加速
 ➡東京のホテル、高齢者施設の強い需要を取り込み、事業領域のさらなる拡大へ

インバウンド需要は堅調に推移。
 一方で東京の客室供給力は天井に接近しており、
 ホテル需要は依然として強力に継続。

東京都の高齢者人口(65歳以上)は
 2025年9月に**312万人**で過去最高を記録。

75歳以上人口も前年比**3万2千人増**の
184万6千人に達し、過去最高を更新。

客室供給力の推移

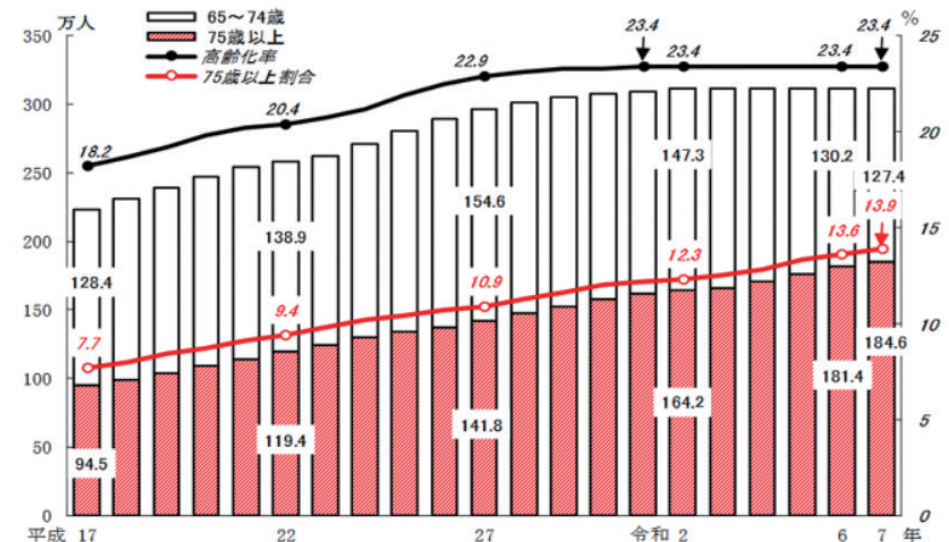


(資料) 観光庁を基に日本総研作成

(注) 後方12ヵ月移動平均。客室供給力=宿泊者数÷稼働率×100。

日本総研2025年12月25日発表Research Eye引用

年齢階級別高齢者人口と高齢化率の推移(東京都)



都心一等地の仕入れを推進し、アパートメントホテルの開発を強化
さらなる需要拡大を見据え、高齢者向け施設の開発を継続



ホテル開発

- 八丁堀ⅡPJ: 売買契約済・2026年10月末引渡し予定(今期 売上計上予定)
- 赤坂PJ: 売買契約済・2028年6月末引渡し予定(来期・中計最終年度 売上計上予定)
- レジデンシャルホテル1棟を計画中



高齢者向け施設開発

当社初の高齢者向け施設
「チャームスイート千歳烏山」が竣工。

現在、さらなるニーズ拡大を見据え、
2棟目の開発を検討中。

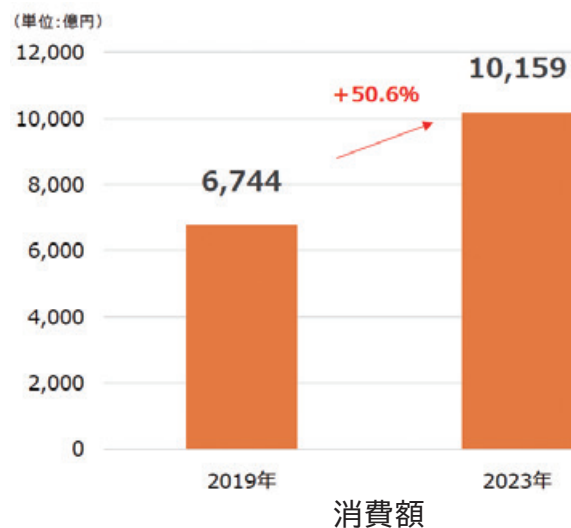


マクロ環境:訪日高付加価値旅行市場(富裕層)の急拡大
➡地方のプレミアムな観光コンテンツとハイエンドホテル開発を強力に推進

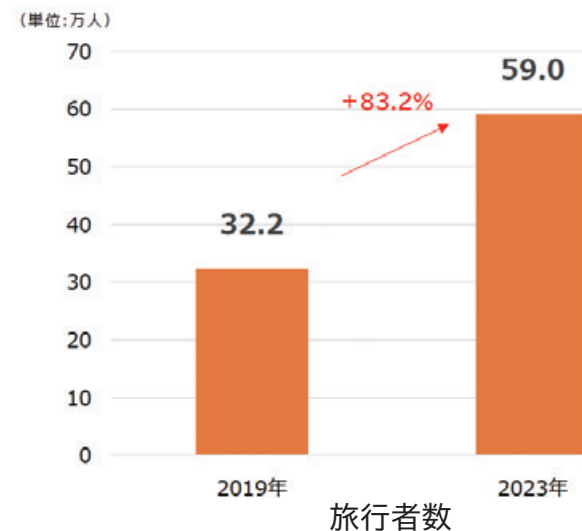
観光庁定義における「高付加価値旅行者」とは、訪日旅行1回1人あたりの総消費額が100万円以上の旅行者を指す。
国を挙げてこの富裕層の誘致を推進しており、市場は急速に拡大中。

訪日高付加価値旅行市場(2023年)

2019年比
+50.6%
市場規模 1兆159億円



2019年比
+83.2%
旅行者数 59万人



出所) 日本政府観光局
高付加価値旅行市場規模調査

魅力的な地方観光資源×高付加価値宿泊施設の開発 旧軽井沢プロジェクトでは初の共有持分分譲



📍 旧軽井沢プロジェクト(タイムシェア別荘)

旧軽井沢の森が包む2,300㎡超の敷地に2棟のプライベートヴィラ

- ・2026年7月～ 分譲販売開始
- ・2027年9月末 竣工予定



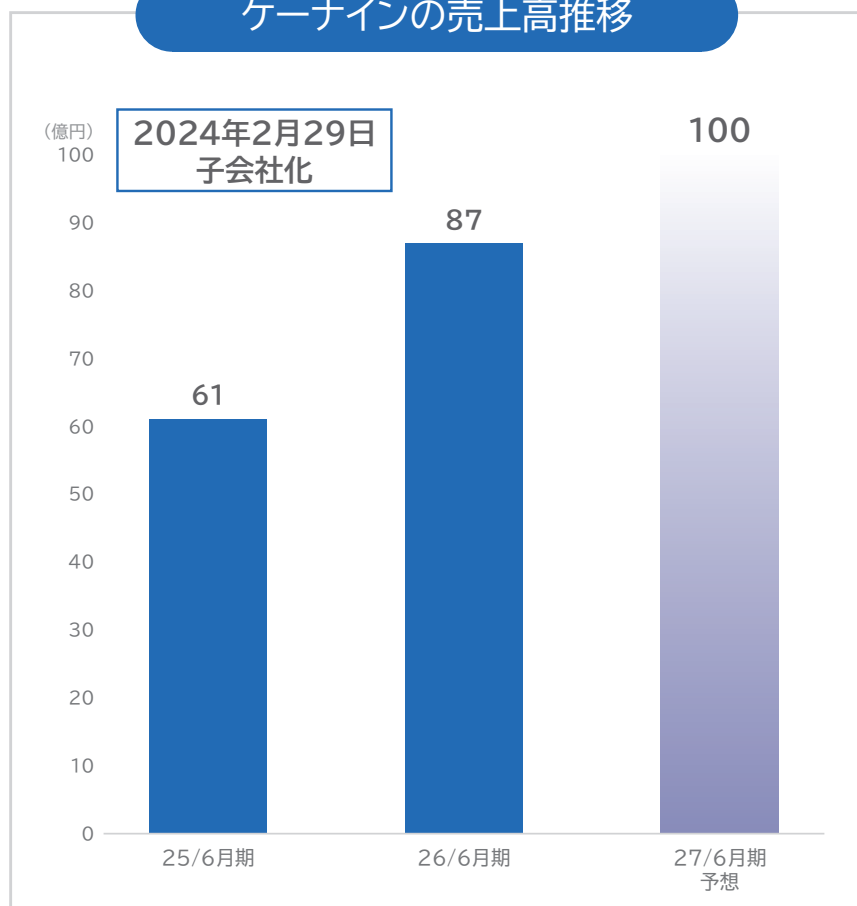
📍 ニセコひらふプロジェクト (世界的スノーリゾートにおける企画案中案件)



📍 長崎出島プロジェクト (歴史的観光拠点における企画案中案件)

ケーナイン2027年6月期業績予想:売上高100億円(前期比+14%) 営業利益11億円(前期比+14.5%)
M&A後の2025年6月期から2年で、売上高61億円(2025年6月期)から、売上高100億円企業へ成長

ケーナインの売上高推移



多様化する都心居住ニーズに対応し、売上拡大を継続



タウンハウス
都心・駅近人気エリアでの小型開発を推進



戸建
世田谷エリアを中心に注文住宅を展開



アパート
自社施工PJを増強し、利益を極大化

中期経営計画2028の進捗状況(7) 人的資本投資強化による着実な成果

健康優良企業「金の認定」取得

- 従業員の家族の健診受診率：60%
- 健診の有所見率の改善：前年より約3%改善
- 年次有給休暇の取得促進：72.7%
- 治療中の従業員に対する支援体制の整備
- メンタルヘルス対策に関する計画の策定およびメンタルヘルスケアの実施
- 過重労働対策に関する体制の整備



社内表彰制度の設立

- 建築・営業・事業・管理の4部門で実施
- 推薦・社員投票・実績評価により受賞者を決定
- 受賞者には賞金を授与



社員数増強

- ケーナイン社のグループイン
- 当社での採用強化(リファラル採用制度導入)



各種手当

- 最大5万円の住宅手当
- 健康的な食生活サポート
- 資格取得支援

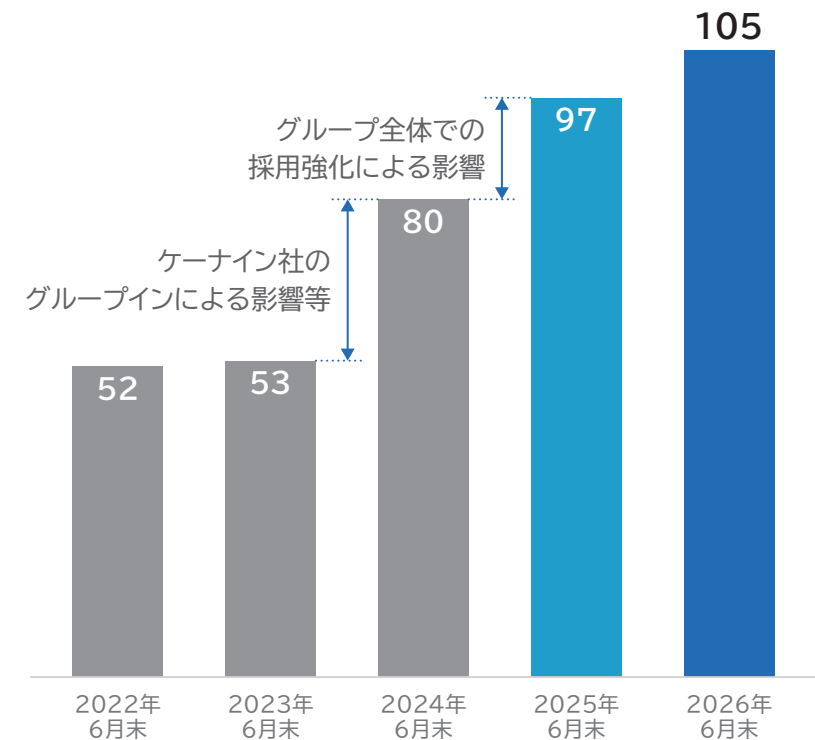


定年再雇用制度

- 定年満65歳まで
- 定年後、満70歳まで嘱託社員として雇用継続



連結従業員数の推移



人的資本投資の強化を図り、さらなる事業成長につなげる

企業価値向上に向けたIR活動

■ 日経・東証IRフェア参加のお知らせ

昨年に引き続き、2026年8月28日(金)に東京ビッグサイトで開催される「日経・東証IRフェア2026」において、個人投資家の皆さまを対象とした会社説明会を開催いたします。

当日は、当社の事業内容や成長戦略、中期経営計画、株主還元方針などについて、代表取締役会長兼CEOの服部信治がわかりやすくご説明いたします。

■ 株主・投資家の声を取り入れたコンテンツの拡充

当社の事業内容をより多くの皆さまにご理解いただくための「事業紹介動画」と、当社が開発する都市型賃貸マンションの魅力をご覧いただける「ルームツアー動画」の2本を公開しました。

これらの動画は、2026年3月発行の株主通信で実施した株主アンケートにおいて、多くの株主の皆さまから寄せられた「わかりやすい事業説明動画が見たい」というご要望を受けて制作したものです。

■ 事業紹介動画 (約1分30秒)

<https://youtu.be/TKOfgXnAWnE>

アニメーションを用いて、当社の主力事業である都市型賃貸マンションの開発・販売をはじめ、不動産開発事業やホテル開発事業など、当社の事業内容をわかりやすくご紹介しています。



■ ルームツアー動画 (約12分30秒)

<https://youtu.be/DMMAYTouSD4>

都市型賃貸マンションブランド「アジュールコート」の魅力を、当社代表取締役会長兼CEO・服部信治が自らご案内するルームツアー動画です。デザインや設備、収納など、「ものづくりへの圧倒的なこだわり」をわかりやすくご紹介しています。



当社は、投資家の皆さまとの対話を重視し、今後もIR活動を積極的に展開してまいります。

参考資料

会社概要

(2026年6月末現在)

設 立	1997年7月												
資 本 金	3,967百万円												
事 業 内 容	➤ 不動産開発販売 ・都市型賃貸マンションの開発、1棟販売 ・分譲用マンション等の開発・販売 ・事業用地の仕入販売等 ➤ 不動産仕入販売 ・中古マンション等の仕入販売等 ➤ その他不動産事業 ・不動産賃貸業等 ➤ ホテル事業 ➤ 第二種金融商品取引業												
役 職 員 数	<table> <tr> <td>取締役</td><td>9名(内社外 3名)</td></tr> <tr> <td>監査役</td><td>3名(すべて社外)</td></tr> <tr> <td>社員</td><td>60名</td></tr> <tr> <td>契約等</td><td>5名</td></tr> <tr> <td>子会社</td><td>40名</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>117名</td></tr> </table>	取締役	9名(内社外 3名)	監査役	3名(すべて社外)	社員	60名	契約等	5名	子会社	40名	合計	117名
取締役	9名(内社外 3名)												
監査役	3名(すべて社外)												
社員	60名												
契約等	5名												
子会社	40名												
合計	117名												
決 算 期	6月末日												
本 社	東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 霞が関ビルディング35階												
連結子会社	株式会社アーバネットリビング 株式会社ケーナイン 他1社												



1950年6月29日生 福岡県出身 一級建築士

 1974年 4月 北斗建設(株)入社
 1976年 8月 (株)核建築設計事務所入社
 1978年 9月 カク建築設計事務所設立 代表
 1981年 2月 名星建設(株)(現(株)イクス・アーク都市設計)設立参加
 1997年 7月 当社設立 代表取締役社長
 2022年 9月 代表取締役会長兼CEO(現任)

代表取締役会長 兼 CEO

服部 信治

Hattori Shinji



1969年4月28日生 東京都出身

 1998年 3月 当社入社
 2003年 1月 取締役都市開発事業部長
 2018年 9月 常務取締役常務執行役員 都市開発事業本部長
 2019年10月 取締役副社長 上席執行役員 事業本部長
 2022年 9月 代表取締役社長(現任)

代表取締役社長

田中 敦

Tanaka Atsushi

株式の状況 (2026年6月末現在)

>> 株式の状況

発行可能株式総数	64,000,000株
発行済株式総数	37,574,100株
株主総数	35,501名

>> 大株主（上位10位）

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(株)服部	5,550,800	14.77
(株)日本カストディ銀行(信託口)	658,900	1.75
(株)合田工務店	588,000	1.56
服部 弘信	384,000	1.02
服部 信治	350,000	0.93
奥田 周二	321,300	0.86
マイルストーンキャピタルマネジメント(株)	308,700	0.82
野村信託銀行(株)(投信口)	293,000	0.78
(株)明和	280,000	0.75
木村 義純	173,300	0.46
合計	8,908,000	23.71

>> 所有者別株式分布状況

所有者区分	株式数(株)	株式数比率(%)
個人・その他	28,450,945	75.72
その他国内法人	7,552,402	20.10
自己株式	659,049	1.75
外国人	416,614	1.11
金融機関	333,000	0.89
金融商品取引業者	162,090	0.43
合計	37,574,100	100.00

※自己株式には、当社の取締役(社外取締役は除く。)および従業員に対し、信託を用いた株式報酬制度の導入により採用した信託口が保有する当社株式を含めております。

>> その他株式の状況

区分	株式数(株)	比率(%)
少数特定者持株数	9,042,049	24.06
浮動株数	20,711,306	55.12

各種指標の推移

		2022年6月期	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期
売上高	(百万円)	19,606	20,264	27,965	33,933	39,394
営業利益	(百万円)	2,222	2,429	2,726	3,481	4,147
営業利益率	(%)	11.3	12.0	9.7	10.3	10.5
経常利益	(百万円)	1,985	2,139	2,426	2,787	3,135
経常利益率	(%)	10.1	10.6	8.7	8.2	8.0
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	1,314	1,447	1,701	1,850	2,129
資本金	(百万円)	2,693	2,693	2,956	3,519	3,967
発行済株式総数	(千株)	31,374	31,374	32,774	35,574	37,574
純資産額	(百万円)	14,393	15,192	15,064	17,347	19,496
総資産額	(百万円)	38,090	44,237	46,972	62,322	79,050
1株当たり当期純利益(EPS)	(円)	41.89	46.33	54.15	56.26	58.15
1株当たり純資産額(BPS)	(円)	407.83	437.54	468.18	495.85	528.13
1株当たり配当額	(円)	17.00	19.00	21.00	22.00	24.00
自己資本利益率	(%)	10.6	11.0	11.9	11.4	11.6
自己資本比率	(%)	33.6	30.6	32.1	27.8	24.7
株価収益率(PER)	(倍)	7.2	7.1	7.3	8.3	8.7
株価純資産倍率(PBR)	(倍)	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0
配当性向	(%)	40.6	41.0	38.8	39.1	41.3
配当利回り	(%)	5.7	5.8	4.8	4.7	4.7
期末時価総額	(百万円)	9,412	10,322	13,044	16,541	19,087

本資料のお取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想並びに将来見通しは、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及又は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。